

2016年度(平成28年度) 県内温室効果ガス排出量

2015年度(平成27年度)における県内の温室効果ガス総排出量は、前年度比で4.7%増加、基準年度(2013年度(平成25年度))比で2.5%減少していました。

なお、温室効果ガス排出量の約90%を占める「エネルギー起源二酸化炭素排出量」の各部門での排出状況は以下のとおりです。

【産業部門】

電力の二酸化炭素排出係数は改善傾向にあるものの(㉕0.516 ㉖0.523 ㉗0.496 ㉘0.493【単位:kg-CO₂/kWh】)、電力使用量が前年度より増加したことに伴い、二酸化炭素排出量は前年度比で8.7%増。なお、基準年度(H25)比では2.9%減。

【民生家庭部門】

電力の二酸化炭素排出係数は改善傾向にあるものの、電力使用量のほか、都市ガス、LPガス使用量も前年度より増加したことに伴い、二酸化炭素排出量は前年度比で5.5%増。なお、基準年度(H25)比では2.7%減。

【民生業務部門】

電力の二酸化炭素排出係数は改善傾向にあるものの、電力使用量のほか、都市ガス使用量も前年度より増加したことに伴い、二酸化炭素排出量は前年比で3.7%増。なお、基準年度(H25)比では0.5%減。

【運輸部門】

ガソリン、軽油の使用量が前年度より増加したことに伴い、二酸化炭素排出量は前年度比で3.1%増。なお、基準年度比では5.9%減。

県内温室効果ガス排出量

(単位:万t-CO₂)

区分	2012年度	2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度			
					構成比	前年度比	基準年度比	
温室効果ガス排出量 合計	767	781	782	727	761	100%	4.7%	-2.5%
二酸化炭素	728	741	742	686	718	94.3%	4.7%	-3.2%
エネルギー起源	703	715	716	660	692	90.9%	4.9%	-3.2%
産業部門	123	115	117	103	112	16.2%	8.7%	-2.9%
民生家庭部門	224	230	232	212	224	32.4%	5.5%	-2.7%
民生業務部門	143	155	160	148	154	(※)22.2%	3.7%	-0.5%
運輸部門	212	215	207	196	202	29.2%	3.1%	-5.9%
非エネルギー起源	26	26	26	25.4	25.2	3.3%	-0.8%	-2.3%
メタン	8.8	8.5	7.9	8.3	7.9	1.0%	-5.1%	-7.6%
一酸化二窒素	7.2	7.2	6.6	6.2	6.4	0.8%	2.7%	-10.8%
HFC等4ガス	23	24	26	27.2	29.4	3.9%	8.1%	20.8%

(注)合計及び比率は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

(※)当該欄の構成比は、エネルギー起源二酸化炭素排出量に対する各部門の排出割合を表しています。

